

人と人をつなぐ、
あなたのベストパートナーでありたい。

IK INABATA

株主通信

2021年3月期 第2四半期 | 2020.4.1 ▶ 2020.9.30



おかげさまで創業130周年
稲畑産業株式会社



中長期の視点に立って 足元を固め、 着実に歩みを進めます

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2020年4月1日から同9月30日における事業の概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長 **稲畑勝彦**

● 当第2四半期連結累計期間の概況について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の世界的大流行の影響により、米国、中国をはじめ、欧州ユーロ圏の主要国、アジアの新興国など、幅広い国々や地域において、依然として厳しい状況にあります。下げ止まりや持ち直しの動きもみられてきました。

一方、日本経済も感染症の影響により、雇用情勢に弱い動きがみられ、企業収益も大幅な減少となり厳しい状況が続きました。個人消費や輸出には持ち直しの動きがみられますが、先行きに対する不透明感が高く、引き続き厳しい状況が見込まれます。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、267,188百万円(対前年同期比13.1%減)となりました。利益面では、営業利益6,212百万円(同12.8%減)、経常利益6,948百万円(同12.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,851百万円(同13.2%減)となりました。

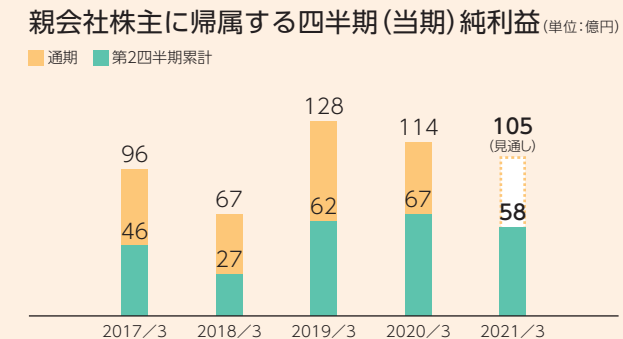
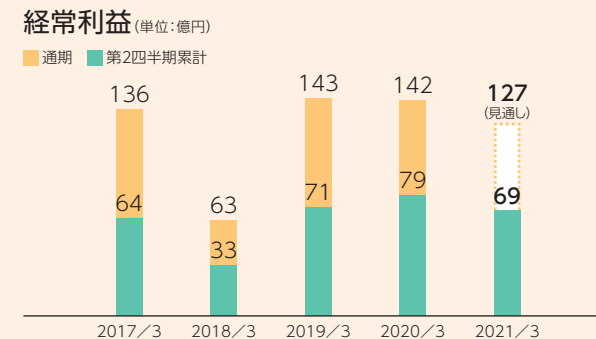
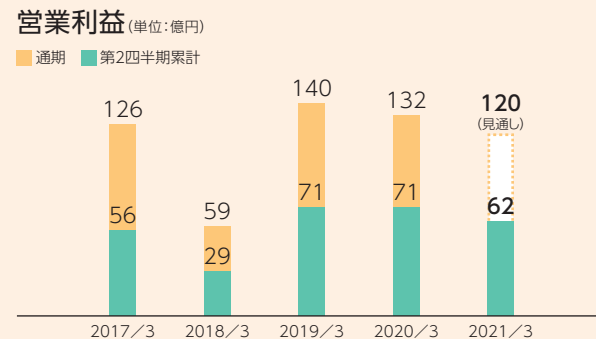
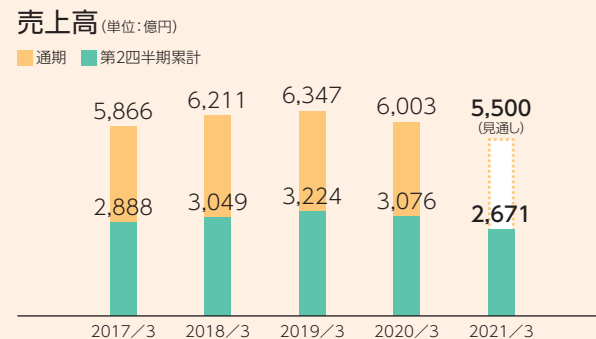
● 中期経営計画 NC2020 最終年度の進捗について

当社は、2021年3月期を最終年度とする4カ年の中期経営計画「New Challenge 2020」(以下NC2020)を推進しており、当期はその最終年度にあたります。第2四半期を終えた時点での各事業の状況をご説明いたします。

まず、情報電子事業ですが、巣ごもり需要やテレワークの拡大もありTV・ノートPC用の液晶パネル向け原材料の販売が堅調でした。スマホ用の有機ELパネル向けの原材料の販売も市場の成長と共に伸長しつつあります。

化学品事業は、感染症の影響により、樹脂原料・添加剤の販売や塗料・インキ・接着剤分野向けの原料販売など、総じて低調でした。建築資材関連のビジネスも厳しい状況です。

連結財務ハイライト



生活産業事業は、医薬原料のビジネスが減少しました。食品関連も全体としては、依然、厳しい状況ですが、回転寿司向けの魚の加工品や冷凍野菜・果実の販売は伸ばしています。

最後に合成樹脂事業は、ここ数年、樹脂コンパウンド事業を武器にNC2020の計画値を上回る成長を続けてきましたが、当期については感染症の世界的な大流行により、状況が一変しました。特に分野別では自動車分野、地域別では東南アジアで急ブレーキがかかり、樹脂の販売が大きく減少しました。一部に回復も見られますが、樹脂価格の低迷もあり、事業全体でのビジネスの回復には、まだ時間がかかりそうです。

● 当期の見通しについて

当期は、NC2020の最終年度の目標値である売上高7,300億円、営業利益155億円を目指してまいりましたが、感染症の大流行の影響を受け、2020年11月時点において、目標未達となる見込みです。2021年3月期の業績は、売上高5,500億円、営業利益120億円の見通しとなります。

● 配当について

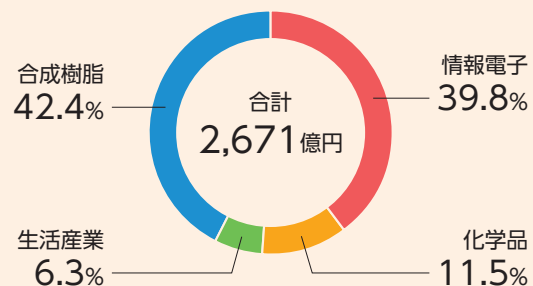
当期の中間配当金は、当初の予定のとおり、1株当たり20円とさせていただきます。期末配当金は、1株当たり33円(中間配当とあわせて年間53円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

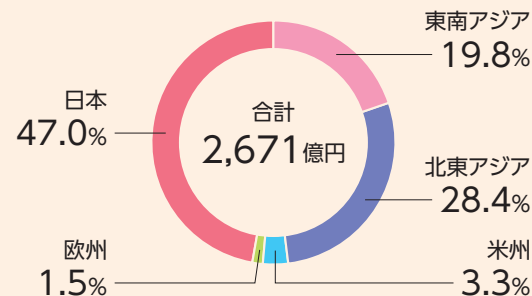
2020年11月

連結財務ハイライト

事業区別売上高構成比 (2020年4月1日～2020年9月30日)



所在地別売上高構成比 (2020年4月1日～2020年9月30日)



「統合報告書」を初めて発行しました

稲畑産業の価値創造への取り組みをご紹介します!

財務情報と非財務情報を統合した統合報告書を初めて発行しました。財務諸表には表れない当社の強みやESG(環境・社会・ガバナンス)情報も掲載しています。株主の皆様が、当社の価値創造へのご理解を深められる一助となれば幸いです。



当社ウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

https://www.inabata.co.jp/investor/library/integrated_report/

統合報告書の概要をご紹介します。

1. トップメッセージ

稲畑社長が、長期ビジョン IK Vision 2030の狙いと、そのファーストステップである中期経営計画 New Challenge 2020の重点施策の取り組み状況や、重要な非財務資本である「人財」の育成について、今後の想いを語っています。



2. 価値創造プロセス

当社がどのように価値を持続的に創出しているかを図で示しました。価値創造の源泉である「人財」と「情報力」をベースに、「製造加工」「物流」「ファイナンス」「商品開発」などの各機能を駆使して、顧客の課題解決や新たなビジネスの創出につなげています。

3. 各セグメントの注力分野

情報電子、化学品、生活産業、合成樹脂の各セグメントの事業環境・強み・戦略と、中期経営計画の取り組みについて紹介しています。



今後も内容を充実させて、皆さまにご理解いただけるよう、透明性のある開示に努めてまいります。

冊子をご希望の方は、下記アドレスまで「お名前・ご住所・統合報告書希望」と書いて、ご連絡ください。

稲畑産業株式会社 財務経営管理室
IR企画部: inabata-ir@inabata.com

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前期末 | 当第2四半期 |
|----------------|----------------|-------------------------|
| | 2020年3月31日現在 | 連結会計期間末 2020年9月30日現在 |
| 流動資産 | 245,136 | 225,030 |
| 固定資産 | 77,711 | 85,426 |
| 資産合計 | 322,848 | 310,456 |
| 流動負債 | 150,776 | 129,904 |
| 固定負債 | 24,344 | 24,099 |
| 負債合計 | 175,121 | 154,003 |
| 純資産合計 | 147,726 | 156,452 |
| 負債純資産合計 | 322,848 | 310,456 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前第2四半期 | 当第2四半期 |
|-------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 連結累計期間 2019年4月1日~ 2019年9月30日 | 連結累計期間 2020年4月1日~ 2020年9月30日 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 988 | 13,822 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | 198 | △ 351 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △ 5,270 | △ 15,618 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | △ 413 | △ 24 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △ 4,496 | △ 2,172 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 23,011 | 25,480 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末残高 | 18,514 | 23,308 |

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前第2四半期 | 当第2四半期 |
|------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 連結累計期間 2019年4月1日~ 2019年9月30日 | 連結累計期間 2020年4月1日~ 2020年9月30日 |
| 売上高 | 307,615 | 267,188 |
| 売上総利益 | 23,541 | 20,735 |
| 販売費及び一般管理費 | 16,415 | 14,522 |
| 営業利益 | 7,126 | 6,212 |
| 営業外損益 | 815 | 736 |
| 経常利益 | 7,941 | 6,948 |
| 特別損益 | 1,721 | 1,419 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 6,738 | 5,851 |

1

1

2

3

3

3

Point 1 売上高の減少等により、
流動資産が20,106百万円減少しました。
流動負債が20,872百万円減少しました。

Point 2 新型コロナウイルス感染症の影響等により、
売上高が40,426百万円減少しました。

Point 3 売上高の減少等により、
営業利益が913百万円減少しました。
経常利益が993百万円減少しました。
親会社株主に帰属する四半期純利益が
887百万円減少しました。

会社概要(2020年9月30日現在)

| | |
|-------|---------------------------------|
| 会社名 | 稲畑産業株式会社 |
| 創業年月日 | 1890年10月1日 |
| 設立年月日 | 1918年6月10日 |
| 資本金 | 93億6千4百万円 |
| 従業員数 | 659名(グループ会社への出向者を含む) [連結4,072名] |
| 大阪本社 | 大阪市中央区南船場一丁目15番14号 |
| 東京本社 | 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号 |
| 名古屋支店 | 名古屋市中区名駅二丁目27番8号 |
| 営業所 | 塩尻営業所、浜松営業所、九州営業所(霧島市) |

株式情報(2020年9月30日現在)

| | | |
|----------|------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 普通株式 | 200,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 普通株式 | 63,499,227株 |
| 株主数 | | 17,158名 |

大株主の状況(上位10名)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---|-------------|-------------|
| 住友化学株式会社 | 13,836 | 22.9 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,146 | 5.2 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 1,749 | 2.9 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行 | 1,736 | 2.9 |
| SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT | 1,254 | 2.1 |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 1,193 | 2.0 |
| 稲畑 勝雄 | 1,161 | 1.9 |
| STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS-UNITED KINGDOM | 1,081 | 1.8 |
| SMBC日興証券株式会社 | 1,048 | 1.7 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口9) | 1,048 | 1.7 |

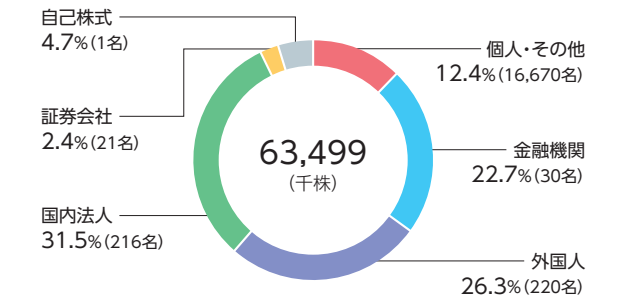
(注)当社が保有する自己株式数3,010,320株(ただし「株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式100,000株を除く)につきましては、上記の表及び持株比率の計算より除いております。

役員(2020年9月30日現在)

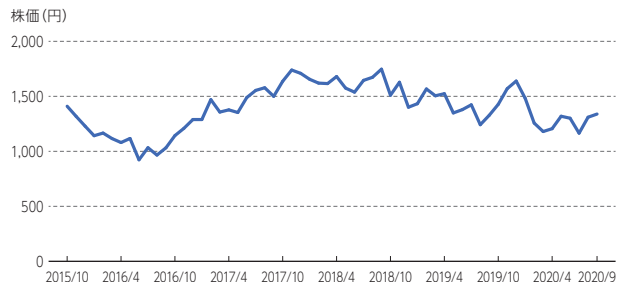
| | | | |
|-------------|--------|-------|--------|
| 代表取締役社長執行役員 | 稲畑 勝太郎 | 常勤監査役 | 望月 卓 |
| 代表取締役専務執行役員 | 赤尾 豊弘 | 常勤監査役 | 久保井 伸和 |
| 代表取締役専務執行役員 | 横田 健一 | 監査役 | 高橋 慶孝 |
| 取締役専務執行役員 | 佐藤 友彦 | 監査役 | 柳原 克哉 |
| 取締役専務執行役員 | 杉山 勝浩 | 監査役 | 玉井 哲史 |
| 取締役専務執行役員 | 安江 範臣 | 執行役員 | 小田 吉哉 |
| 取締役 | 出口 敏久 | 執行役員 | 幡本 裕之 |
| 取締役 | 蟹澤 俊行 | 執行役員 | 花木 和宏 |
| 取締役 | 佐藤 潔 | 執行役員 | 河合 紳也 |
| 取締役 | 濱島 健爾 | 執行役員 | 高橋 豊治 |
| | | 執行役員 | 中野 幸治 |

(注)1. 取締役 蟹澤 俊行、佐藤 潔及び濱島 健爾は、社外取締役であります。
2. 監査役 高橋 慶孝、柳原 克哉及び玉井 哲史は、社外監査役であります。

所有者別株式分布状況(2020年9月30日現在)



株価の推移(月間終値)



株主メモ

| | |
|-------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。 |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 公告の方法 | 電子公告 当社のホームページに掲載します。 https://www.inabata.co.jp/koukoku ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第1部 |
| 証券コード | 8098 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 会計監査人 | 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号 銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人 |
| 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵便物送付先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎ 0120-782-031 |
| (ホームページURL) | https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

■ 特別口座について

株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

TOPICS 野村IR資産運用フェア2021に出展します

当社は2021年1月8日・9日にオンラインにて行われる【野村IR資産運用フェア2021】[主催:野村インベスター・リレーションズ(株)]に出展いたします。社長講演会(予定)のライブ配信や企業紹介動画を配信いたしますので、ぜひご覧ください。

※アーカイブは2021年1月31日までの公開です。

株主優待制度について

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様に、下記の株主優待品を同封しております。

株主優待の内容

当社オリジナル
QUOカード



(注) QUOカードのデザインは額面により異なります。

| 継続保有期間 | 保有株式数 | | |
|-----------|------------------|------------------|---------|
| | 100株以上 200株未満 | 200株以上 300株未満 | 300株以上 |
| 6カ月未満 | 500円分 | 500円分 | 500円分 |
| 6カ月以上3年未満 | 1,000円分 | 2,000円分 | 3,000円分 |
| 3年以上 | 2,000円分 | 3,000円分 | 5,000円分 |

※継続保有期間について

- 優待品贈呈の対象となる株主様は、毎年、贈呈の基準日を9月30日として、各継続保有期間中のすべての基準日時点の株主名簿において、保有株式数の条件を満たし、かつ同一の株主番号が継続して記録されている株主様となります。
- 当社は毎年、3月31日、6月30日、9月30日、12月31日を株主名簿の記録確認の基準日としています。

詳しくは、当社WEBサイトをご覧ください

<https://www.inabata.co.jp/>

